



福祉事業所の利用者たちと合唱するあんべさん（上段左）

えさし 灯火が照らすみんなの願い ヒロノ福祉パーク祭

第4回ヒロノ福祉パーク祭（同実行委員会主催）が8月2日、同パークで開催されました。演芸祭や仮装盆踊り大会などの後、2014 夢灯り in 江刺がスタート。市民手作りの夢灯りスタンド1,700 個あまりの柔らかな光に包まれる中、シンガーソングライターのあんべ光俊さんのコンサートが行われました。

あんべさんは「遠野物語」「星の旅」などの代表曲を熱唱し、その後、みんなが安心して暮らせるまちを願い、来場者と心を一つに合唱しました。

みづさわ 体験を通して礼儀を学ぼう 第34 回水沢寺子屋

夏の恒例行事となった「水沢寺子屋」（同実行委員会主催）が7月30日から8月6日までの間、区内の17 寺社を会場に開催されました。

今年で34 回目を迎えたこの事業は、「寺子」と呼ばれる小学生とお世話係の中高生が交流を深め、体験の中からコミュニケーション能力を醸成してもらおうと開催されているもの。黒石地区の藤春院会場に参加した伊藤小遙さん（黒石小3 年）は「みんな一緒に泊まれるのが楽しみ」と目を輝かせていました。



真剣なまなざしで座禅に取りくむ子どもたち



みんなに見守られ、泣きながらも餅の重さに負けずに歩きました

いさわ 健やかな成長を地域で願い 第22 回愛宕神社まつり

愛宕神社まつり（愛宕山神社管理運営委員会主催）が7月26日、同神社境内で開催されました。

杉の木に囲まれた境内は涼しく感じられ、参加者は腕相撲大会や奥州はっと流しなどを楽しみました。「ちびっこ三吉一番背負い」では、2 歳未満の子どもたちが約1.5kg の餅を背負い、約4分を懸命に挑戦。黙々と歩き切った及川すみれちゃん（1）の姿に、母親のあゆみさん（29）は「泣くかと思ったけど頑張った」と娘の成長に笑みを浮かべました。



職場の仲間と楽しい時間を過ごします

まえさわ 星空を眺めながら前沢牛を ことしも開催！！まえさわ牛横丁

まえさわ牛横丁（同横丁実行委員会主催）が、7月4日から8月1日までの毎週金曜日に開催されました。同イベントは、地域のにぎわい創出が目的で、ことしで4 年目。イベントスペースには、期間中の開催日に前沢牛販売のほか、さまざまな出店が並びます。

7 月11日は台風の影響で翌日に順延。この日、会場を訪れた静岡県出身で水沢区在住の中村公一さん（55）は「初めて前沢牛を食べました。とてもおいしい！」と、仲間と楽しく酒を酌み交わしていました。

まえさわ 10 年の節目に 1000 人が舞う 奥州前沢よさこいF e s t a X



演舞から踊る楽しさが伝わってくる前沢の「紅翔連」

ことしで10 年目の節目を迎えた奥州前沢よさこいF e s t a X（同実行委員会主催）が7月13日、イオン前沢店駐車場、アスティ商店街通り、前沢ふれあいセンターなど4カ所を会場に開催されました。

「商店街を活気付けよう」と始まった同フェスタ。初年は30 に満たなかった参加団体も、市内だけでなく県内外から43 団体、約1,000 人の踊り手が参加し、前沢を代表するイベントの一つに成長しました。

当日は、途中から雨が降り出すあいにくの天候となりましたが、踊り手たちが笑顔で躍動感溢れる演舞を披露すると、訪れた観客も自然と笑顔に。色とりどりの衣装と迫力ある創作演舞を披露する各団体に、観客から盛大な拍手が送られました。

えさし 新感覚の体験ガイドツアー えさし藤原の郷～平安夏祭～

えさし藤原の郷の平安夏祭が7月26日から開催され、県内初となるセグウェイの乗車ツアーが話題を呼んでいます。身体の傾きに反応して走る電動2 輪車セグウェイは、スキーやスノーボードに近い乗り心地。夫婦で乗車した仙台市の平間玲さん（30）は「景色もきれいで楽しかった。一家に1 台欲しい」とセグウェイでロケ地を走る感覚は癖になるようです。

同ツアーは夏祭り終了後も8月24日まで開催予定。詳しくはえさし藤原の郷までお問い合わせください。



ガイドからロケの解説を聞きながらセグウェイを走らせる



紙芝居を食い入るように見詰める子どもたち

みづさわ 手作りの温もりを伝えたい 第5 回Z ホール手づくり紙しばいまつり

市文化振興財団（菅原義子理事長）が主催する「第5 回Z ホール手づくり紙しばいまつり」が7月26日、市文化会館を会場に開催されました。

ことしで5 回目を迎えたこのイベントは、市内にある紙芝居を読み聞かせながら、手作り紙芝居の良さを体感してもらおうと、夏休みを迎えたこの時期に毎年開催されているもの。仕掛け紙芝居のほか、切り絵やブラックライトを使用した紙芝居も披露され、訪れた人たちは楽しいひとときを過ごしました。